

ポスター発表

会場：P1 (203 教室)・P2 (301 教室)・P3(302 教室)

コアタイム：28 日 13:15～15:10 29 日 13:15～14:40

ポスター賞授与式 29 日 14:40 より P1 会場

ポスター発表 (学生会員の部) 会場：P1 (203 教室)

- P001 ニホンジカの採食に伴う林床植生単一化, ハムシ科甲虫数種に対する影響
○ 日下部良康 (日大・生物資源)
- P002 Ground Beetles in the Rural Forest Landscapes: Community Structure in Forest
○ Jung Jong-Kook・Kim Seung-Tae・Lee Sue-Yeon・Lee Joon-Ho (Seoul National University)
- P003 Community structure and Biomass of Rice field Arthropods depend on the Farming methods in Korea
Kim Seung-Tae・○ Lee Sue-Yeon・Jung Jong-Kook・Lee Joon-Ho (Seoul National University)
- P004 ヨシ原の人為的管理に伴う地表性甲虫群集と食物網構造の変化
○ 佐藤臨・東信行 (弘大院農生)
- P005 生体内微量元素による外来種スグリコスカシバの発生地判別と移動分散評価
○ 工藤誠也¹・渡邊泉²・東信行¹(弘前大院・農学生命¹・東京農工大・農²)
- P006 アンブロシアゴール形成タマバエは共生菌をどのように伝播しているのか?
○ 小舟瞬¹・梶村恒¹・升屋勇人² (名大院生命農¹・森林総研²)
- P007 キイロテントウによるうどんこ病の摂食と伝播
○ 小久保汐梨・勝山裕子・西東力・田上陽介 (静岡大・農)

- P008 共生細菌の鞭毛運動性が腸内共生に果たす役割
○ 大林翼¹・北川航^{1, 2}・深津武馬²・菊池義智^{1, 2} (北大・農¹・産総研・生物プロセス²)
- P009 共生細菌の減少が引き起こすミナミアオカメムシの高温障害
○ 多田明世¹・菊池義智²・Dmitry Musolin³・細川貴弘²・深津武馬²・藤崎憲治¹ (京大院・農・昆虫生態¹・産総研・生物プロセス²・St. Peterburg State Univ.³)
- P010 *Wolbachia* 除去によって変化するアズキゾウムシの生活史と繁殖投資パターン
○ 岡山佳祐・香月雅子・岡田賢祐・宮竹貴久 (岡大院・環境)
- P011 ツマグロヨコバイと共生微生物間の相互作用を介する PGRP 遺伝子
○ 富澤真^{1, 2}・野田博明^{1, 2} (東大院・先端生命¹・生物研²)
- P012 ヤマトシロアリ職蟻負傷個体への共喰い行動に際して見られた振動行動
○ 山中康如・岩田隆太郎 (日大・生物資源)
- P013 ヤマトシロアリにおいて卵の不揮発性物質が二次女王分化に与える影響
○ 内藤龍太・松浦健二 (岡山大・院・昆虫生態)
- P014 シロアリの女王フェロモン物質の糸状菌に対する抗菌活性
○ 松永武・松浦健二 (岡山大・院・昆虫生態)
- P015 ネバダオオシロアリへの幼若ホルモン類似体の投与による兵隊形質の発達は生殖腺の発達を伴う
○ 橋本裕・前川清人 (富山大院・理工)
- P016 オオシロアリにおける兵隊特異的な腹板腺タンパク質の解析
○ 淀井智也¹・北條賢²・Cornette Richard³・宮川一志⁴・後藤寛貴¹・林良信¹・三浦徹¹ (北大院・環境¹・流大・農²・農生研³・産総研⁴)

- P017 タカサゴシロアリの兵隊特異的な器官形成をもたらす分子発生機構
○ 梅浩平・前川清人（富山大院・理工）
- P018 日本在来種クロマルハナバチとオオマルハナバチの相互作用
○ 松山日名子・小野正人（玉川大・院・昆虫機能）
- P019 ミツバチコロニーにおける熱ストレス以外での水採集行動の解発
○ 木原佑輔・中村純（玉川大・ミツバチ科学）
- P020 熱殺蜂球形成時のニホンミツバチ脳内の神経興奮は高温情報処理を反映する
○ 宇賀神篤¹・木矢剛智²・國枝武和¹・小野正人³・吉田忠晴⁴・久保健雄¹
（東大・院理・生物科学¹・金沢大・院自然・生物科学²・玉川大・農・昆虫機能³・玉川大・ミツバチ科学⁴）
- P021 セイヨウミツバチ雄の性成熟に関わる要因
○ 林晋也¹・原野健一²・佐々木正己¹（玉川大・農¹・玉川大・脳科学研²）
- P022 ニホンミツバチ消化管由来ビフィズス菌の解析
○ 呉梅花¹・テイラーデマー¹・杉村祐哉²・中原雄一²・高屋紀子²・岩田京子²・木村澄²・芳山三喜雄²（筑波大院・生命環境¹・畜草研・みつばちU²）
- P023 アリ由来の炭化水素により引き起こされるアルゼンチンアリの劇的な忌避行動
○ 近藤慶太¹・小林碧¹・高橋忠裕²・秋野順治²・尾崎まみこ¹（神戸大院・理¹・京都工繊大院・工科²）
- P024 日本産トゲオオハリアリにおけるワーカーの卵識別
○ 下地博之^{1, 2, 3}・藤木悠里³・山岡亮平³・辻和希²（鹿児島大¹・琉球大²・京都工芸繊維大³）

- P025 オオハリアリの侵略機構：自然分布域・侵入地間での群集構造比較
○ 末廣亘¹・小西宏基¹・辻和希²・松浦健二¹（岡山大院・昆虫生態¹・琉球大・昆虫²）
- P026 餌質はトビイロシワアリの動員に影響するのか？
○ 原田恭子・秋野順治・山岡亮平（京工織大・応用生物）
- P027 アリグモ *Myrmarachne japonica* の擬態とその適応的意義
○ 村田真里奈¹・秋野順治²・西東力¹・田上陽介¹（静岡大¹・京工織大²）
- P028 羊の皮を被った狼？：クサカゲロウのアブラムシ捕食戦略
○ 林正幸¹・長泰行¹・中牟田潔²・野村昌史¹（千葉大・応用昆虫¹・千葉大・化学生態²）
- P029 跳ねるジャガイモガ：あまり飛ばないのにどうやって雌にたどり着く？
○ 手嶋伸¹・佐久間正幸¹・小野知洋²（京大院・農・昆虫生理¹・金城学院大²）
- P030 複数のアズキゾウムシ系統間でのヨツモンマメゾウムシへの繁殖干渉能力の比較
○ 京極大助¹・西田隆義²（京大・農・昆虫生態¹・滋賀県大・環境生態²）
- P031 フタホシコオロギ雄の求愛行動は雌の何に反応して解発されるのか
○ 田中綾介・秋野順治（京工織大・応生・化生研）
- P032 ナミアメンボのオスがガード行動を決定するために利用しているキュー
○ 松枝敦夫・藤崎憲治（京大院・農・昆虫生態）
- P033 オスの誇張形質がホソヘリカメムシの性選択に与える影響
○ 洲崎雄・香月雅子・岡田泰和・岡田賢祐・宮竹貴久（岡大院・環境・進化）
- P034 シロヘリクチブトカメムシ若齢幼虫の集団形成のキューは匂いか
○ 兵働大輔・藤崎憲治（京大院・農・昆虫生態）

- P035 ハレムだよ、全員集合!: ホオズキカメムシは雌成虫が集合フェロモンを放出する
○ 若村剛・中嶋祐二・藤崎憲治 (京大・農・昆虫生態)
- P036 ホオズキカメムシの産卵意思決定: 卵と幼虫の都合の狭間で
○ 中嶋祐二・若村剛・藤崎憲治 (京大院・農・昆虫生態)
- P037 昆虫の親は卵の温度を調節するか?—フタボシツチカメムシ雌親の卵塊回転行動
○ 向井裕美¹・弘中満太郎²・藤條純夫³・野間口眞太郎³(鹿大・連合農学¹・浜松医大・生物²・佐賀大・農³)
- P038 コメグラサシガメの食餌条件が配偶行動に与える影響
○ 朝倉彰一・宮竹貴久 (岡大院・環境)
- P039 ツチバチの雄における場所固執性及び帰還行動の適応的意義
○ 谷聡一郎・上野高敏 (九大院・生防研)
- P040 水田の主要寄生蜂アオムシヒラタヒメバチにおける揮発性と基質伝達性の性フェロモンを利用した配偶相手探索システム
○ 板谷弘樹・上野高敏 (九大院・生防研)
- P041 モンシロチョウ若齢幼虫の摂食行動とアオムシコマユバチの寄主探索行動
○ 中山彩・中村圭司・田川純 (岡山理大・総合情報)
- P042 アメンボの卵寄生蜂は水中の寄主卵の有無を水上で区別できるか?
○ 甲村 孔明 (九大・生防研)
- P043 幼虫寄生蜂 *Microplitis croceipes* のメイト探索行動
○ Makatiani Jacqueline・Takasu Keiji (Kyushu University)
- P044 複数種のセミの同時合唱から特定種の音量の推移を知る方法
○ 村井幸輝郎¹・沼田英治² (京大・理¹・京大・院理²)

- P045 ハスモンヨトウの幼虫発育速度に及ぼすサイトカインの影響評価
○ 中野史洋・早川洋一（佐賀大学・農学部）
- P046 DNA バーコーディングを用いた農地におけるアオゴミムシ属の食性解析
○ 山崎謙太郎¹・櫻井厚司¹・前藤薫¹・三浦一芸²（神戸大学農学研究科¹・近畿中国四国農業研究センター²）
- P047 多胚性寄生蜂キンウワバトビコバチの寄主侵入における関連分子の探索
○ 井上普・岩淵喜久男（農工大・農・応用昆虫）
- P048 タンパク質をコードする3つの核遺伝子による多足亜門の系統関係の解明
○ 宮澤秀幸¹・上田千晶¹・石渡啓介¹・宮田隆²・蘇智慧^{1,2}（阪大・院理¹・JT 生命誌研究館²）
- P049 イラクサギンウワバはどこから来たのか？：分子系統解析による個体群比較
○ 土屋槇希子¹・野村昌史²（千葉大・園芸・応用昆虫¹・千葉大院・園芸・応用昆虫²）
- P050 モモノゴマダラノメイガの遺伝集団構造:ミトコンドリア DNA からみる2型の分布
○ 青島正昂¹・中秀司²・土田浩治³（岐阜大学応用生物科学¹・鳥取大学農学部²・岐阜大学応用生物科学部³）
- P051 日本産キイロヒラタヒメバチ属（ヒメバチ科：ヒラタヒメバチ亜科）の多様性と分布、生息環境
○ 渡辺恭平¹・前藤薫²・松本吏樹郎³（神戸大院・農・昆虫／学振 DC¹・神戸大院・農・昆虫²・大阪自然史博³）
- P052 ミナミアオカメムシの分布拡大に伴う生活史形質の変化
○ 下司純也・藤崎憲治（京大院・農・昆虫生態）
- P053 侵入害虫キオビエダシヤクの低温耐性と越冬可能性
○ 加藤慶一・小田祐司・齋藤健夫・寺尾美里・新谷喜紀（南九州大院・園芸昆虫）

- P054 ツヤアオカメムシの幼虫発育と成虫休眠に及ぼす日長の影響
○ 本田知大¹・鈴木賢²・糸山享¹ (明治大院農・応用昆虫¹・三重農研・循環虫害²)
- P055 ナミハダニの光周性における単眼の役割
○ 堀雄一¹・志賀向子¹・後藤慎介¹・沼田英治² (大阪市立大・院理¹・京大・院理²)
- P056 時計遺伝子 *Clock* はホソヘリカメムシの光周性において決定的な役割を果たす
○ 石川公佳¹・池野知子³・後藤慎介²・沼田英治⁴ (大阪市大・理¹・大阪市大・院理²・大阪市大・学振 PD³・京大・院理⁴)
- P057 高温条件におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発育・増殖
○ 菊池孝伸・村井保 (農工大連大・生物制御)
- P058 アズキゾウムシにおける形質の違いによる母性効果の影響の違い
○ 柳真一 (九大・総合研究博物館)
- P059 ハラヒシバッタにおける色斑発現について
○ 姫野孝彰¹・鶴井香織²・西田隆義³ (京大・農・昆虫生態¹・弘前大・男女共同参画²・滋賀県大・環境生態³)
- P060 エクダイソン不活性化によるショウジョウバエの蛹化メカニズムの解析
○ 増田亮太・西田律夫・小野肇 (京大院農・応用生命)
- P061 カイコ NO 合成酵素遺伝子 (BmNOS1)の発現解析
○ 松井秋倫¹・田中博光²・戒能洋一³・古川誠一³ (筑波大・生物¹・生物研²・筑波大・生命環境³)
- P062 エグダイソン生合成経路 Black Box 中間体の解明
○ 木村亮太 (応用生命・化学生態学)

- P063 セクロピン分子種の発現とその発育における意義
○ 小倉安海 (農工大・応用昆虫学)
- P064 アワヨトウ血球による貪食作用に及ぼすペプチドグリカンの影響
○ 丸山裕己¹・本田洋²・古川誠一² (筑波大,生物資源¹・筑波大,生命環境²)
- P065 クワガタムシ幼虫の多糖類分解酵素系と腸内細菌相
○ 三島達也¹・岩田隆太郎¹・和田典子²・安齋寛² (日大・生物資源¹・日大・短・生物²)
- P066 コナジラミ類の人工飼料による飼育法の開発～幼虫の発育条件の検討～
○ 竹林大介¹・西東力²・田上陽介² (岐阜連大・農¹・静大・農²)
- P067 寄主加害トウモロコシから放出される揮発性物質の経時的変化とブランコヤドリバエの飛翔反応
○ 羽生和史¹・一木良子²・中村達²・戒能洋一¹ (筑波大・生命環境¹・国際農研²)
- P068 コウチュウ目昆虫の節味覚感覚子の分布状況と味認識における節の重要性
○ 増田秀平・嘉数怜・増岡直史・松田一寛・堀雅敏 (東北大院農・生物制御機能学)
- P069 アイノキクイムシとその随伴植物病原菌に対するイチジク乳液の防御作用
○ 家田真理子¹・松下泰幸²・森田剛成³・軸丸祥大³・梶村恒¹ (名大院生命農・森林保護¹・名大院生命農・森林化学²・広島総研農技セ³)
- P070 ヤマトシロアリワーカー由来の誘引定着因子
○ Nguyen TrongTuan・秋野順治 (京工織大応生)
- P071 ミナミキイロアザミウマの合成ピレスロイド剤抵抗性機構について (III)
○ 包文学¹・伊藤政雄²・村井保³・奈良井裕隆⁴・園田昌司⁵
(岡山大・植物研¹・高知農技セ²・宇都宮大・農³・島根農技セ⁴・岡山大・植物研⁵)

- P072 ナミハダニ GABA 受容体の構造機能相関
○ 小林武¹・平垣進¹・ツファイルムハンマド¹・松田一彦²・竹田真木生¹
(神戸大院農¹・近畿大院農²)
- P073 モモノゴマダラノメイガの産卵選好性と産卵行動の解析
○ 羅智心・本田洋 (筑波大・生命環境)
- P074 ダイズのアブラムシ抵抗性誘起と誘導物質の有効性
○ 小林政文¹・村井保^{1, 2} (農工大院・生物制御¹・宇大・農²)
- P075 マメハモグリバエ幼虫の人工飼育法の検討
○ 溝口大輝・田上陽介・西東力 (静岡大・農)
- P076 タバココナジラミ *Bemisia tabaci* (B-biotype) のチャへの寄生の可能性、およびチャトゲコナジラミ *Aleurocanthus camelliae* との産卵葉位選好性の比較
○ 林宣光・西東力・田上陽介 (静岡大・農)
- P077 *Metarhizium majus* のシロテンハナムグリ病原性系統はタイワンカブトムシ由来の系統とは独立の系統である
○ 西大海¹・飯山和弘²・青木智佐²・清水進²(九大院生資環¹・九大院農²)
- P078 イモゾウムシ病原性 *Farinocystis* 様原虫の宿主範囲の調査
○ 新見はるか¹・鶴田幸成²・青木智佐²・松山隆志³・飯山和弘²・清水進² (九大院生資環¹・九大院農²・沖縄県病害虫防技セ³)
- P079 アブラナ科植物の揮発成分が昆虫病原糸状菌に与える影響
○ 渥美絢子・田上陽介・西東力 (静岡大・農)
- P080 糖類が昆虫病原糸状菌 *Beauveria bassiana* の感染に及ぼす影響
○ 瀧浪愛実・田上陽介・西東力 (静岡大・農)
- P081 ハスモンヨトウ幼虫におけるハスモンサムライコマユバチと緑きょう病菌との相互作用
○ 渡邊亮 (農工大院(農))

- P082 日本に分布するマイマイガに対する日本で単離されたマイマイガ核多角体病ウイルスの病原力の比較
○ 佐野朋也・仲井まどか・平尾綾子・国見裕久（農工大院・農）
- P083 チャノコカクモンハマキ核多角体病ウイルスの *Bacmid* 系の構築とそれを利用した組換えウイルスの作製
○ 齋藤康将・阿部健人・国見裕久・平尾綾子・仲井まどか（農工大院・農）
- P084 野生蚊の虫体および虫体内から分離された昆虫寄生性アナモルフ菌類の *Anopheles stephensi* 雌成虫に対する致死性・感染性の比較
○ 石井嶺広¹・竹下隼也¹・石山海嗣¹・小池正徳¹・嘉糠洋陸²・福本晋也³・相内大吾³（帯広畜大環境微生物学¹・慈恵医大熱帯医学²・帯広畜産原虫病研³）
- P085 カイコに対して異なる毒性を示す *Nosema bombycis* の遺伝子差異
○ 石井麻美・畠山吉則・小田尚幸・山本裕一・岩野秀俊（日大生物資源）
- P086 新手法による昆虫病原性糸状菌 *Beauveria bassiana* 系統関係の再構築
○ 小田尚幸・畠山吉則・岩野秀俊（日大生物資源）
- P087 インドネシア共和国ジョグジャカルタ市で発見された微胞子虫の系統解析
○ 志賀野倫明¹・畠山吉則¹・山本裕一¹・小田尚幸¹・Arman Wijonarko²・岩野秀俊¹（日大生物資源¹・Gadjah Mada Univ.²）
- P088 *Bacillus thuringiensis* の都市環境における効率的検索
○ 山本裕一・畠山吉則・石井麻美・志賀野倫明・岩野秀俊（日大生物資源）
- P089 アワヨトウ幼虫における異物のメラニン化について
森下恵¹・澤友美¹・○ 加藤倭久¹・立石剣²・加藤良晃³・田中利治⁴・中松豊¹（皇學館大・教育¹・農業生物資源研²・BASF³・名大・院・生命農⁴）
- P090 アワヨトウ幼虫の生体防御反応における脂肪体の役割について
○ 澤友美¹・森下恵¹・立石剣²・田中利治³・中松豊¹（皇學館大・教育¹・農業生物資源研²・名大院・生命農³）

- P091 寄生バチ *Halticoptera circulus* の3種ハモグリバエにおける発育日数
○ 剣持太一・田上陽介・西東力（静岡大・農）
- P092 クワゴヤドリバエ *Exorista sorbillans* の寄主探索におけるクワへの着地に関わる因子
○ 田中彩（筑波大学生命環境科学）
- P093 ギンケハラボソコマユバチによる寄主アワヨトウの栄養代謝制御について
成川沙紀¹・平賀早紀¹・○ 山際桃子¹・立石剣²・田中利治³・中松豊¹（皇學館大・教育¹・農業生物資源研²・名大院・生命農³）
- P094 ガ類幼虫に寄生するギンケハラボソコマユバチの日周活動性
○ 西村卓真・前藤薫（神戸大院・農）
- P095 ギンケハラボソコマユバチ *Meteorus pulchricornis* の産雌性単為生殖メカニズムの解明
○ 筒井容子¹・三浦一芸²・濱口京子³・高見泰興⁴・前藤薫¹（神戸大院・農¹・近中四農研セ²・森林総研³・神戸大院・発達⁴）
- P096 多胚性寄生蜂キンウワバトビコバチの過寄生に対する産卵経験の影響
○ 古味桜子・岩淵喜久男（東京農工大・応用昆虫）
- P097 多胚性寄生蜂キンウワバトビコバチの兵隊幼虫のストレスに応じた増員
○ 岸野里香・田川泰章・岩淵喜久男（東京農工大・応用昆虫）
- P098 青色粘着板に青色 LED を反射させたトラップによるミナミキイロアザミウマ誘殺特性
○ 中村祐貴¹・柴尾学²・田中寛²・矢野栄二¹（近畿大・農¹・大阪環農総研²）
- P099 試作 LED トラップを用いたタバコシバンムシ防除の試み：現状と課題
○ 伊久修義¹・湊側太郎¹・香月雅子¹・大前雄介¹・加村徹¹・岡田賢祐¹・宮竹貴久¹・佐々木力也²・篠田一孝²（岡山大院・環境¹・富士フレーバー²）

- P100 在来系統シヨクガタマバエのアブラムシ種間における産卵寄主選択
○ 東田景太 (近畿大・農)
- P101 人工飼料を用いたオオメカメムシの定着性向上技術の開発
○ 五十嵐清晃¹・野村昌史¹・大井田寛^{1, 2} (千葉大・園¹・千葉農林総研²)
- P102 卵-幼虫寄生蜂 *Chelonus inanitus* の産卵行動における物理刺激
○ 新行内隆明・戒能洋一 (筑波大学生命環境科学研究科)
- P103 アブラムシ類の効率的な生産方法の開発と天敵増殖への利用
○ 八島圭佑・村井保 (農工大連大・生物制御)
- P104 アブラムシや植物由来の揮発性成分によるシヨクガタマバエ雌成虫の嗅覚反応
○ 長谷川翔一 (近畿大・農)
- P105 寄主ハマキガ成分を処理した茶葉に対するハマキコウラコマユバチの反応
○ ピヤサントナリサラ・デシュパンデスジャータ・戒能洋一 (筑波大学生命環境科学研究科)
- P106 土着天敵クロヒョウタンカスミカメの発生に関する地域差と周辺植生の影響
○ 岩瀬俊一郎・中平賢吾・高木正見 (九大院・農・生防研)
- P107 圃場で使用される有機質肥料のハウレンソウケナガコナダニ産卵に対する栄養価
○ Baloch M. Naveed・Mori Naoki・Aboshi Takako・Amano Hiroshi (Grad. Sch. Agri., Kyoto Univ.)
- P108 露地ナスおよび周辺雑草におけるヒメハナカメムシ類の発生密度と種構成の季節的変動
○ 大門聖¹・柴尾学²・田中寛³・矢野栄二⁴ (近大院・農¹・大阪環農水総研²・大阪環農水総研³・近大院・農⁴)

- P109 キクギンウワバおよびイチジクキンウワバの生態特性とその防除
○ 井口諒子¹・野村昌史² (千葉大・園芸・応用昆虫¹・千葉大院・園芸・
応用昆虫²)
- P110 Electron beam irradiation induces abnormal development and the stabilization of
p53 protein of Lirio
○ Yun Seung Hwan・Park Young-Uk・Ahn Jeong-Jin・Koo Hyun-Na・Kim
Gil-Hah (Chungbuk National University)
- P111 Spring hatch model of overwintered eggs of *Lycorma delicatula* (White)
(Hemiptera: Fulgoridae)
○ Park Marana・Lee Joon-Ho (SNU)
- P112 ハスモンヨトウ (*Spodoptera litura*) 幼虫による(+)- Δ^3 -carene の生物変換
○ 神足悟史・宮澤三雄 (近畿大・理工)
- P113 高知系褐毛和種畜舎における主要ハエ類の発消長
○ 小川浩平・荒川良 (高知大・農)
- P114 ハダニ科の形態および DNA 塩基配列に基づく系統解析
○ 松田朋子¹・日本典秀²・森下真衣子¹・北嶋康樹¹・後藤哲雄¹ (茨城大・
農・応動昆¹・農研機構・中央農研²)